



立憲民主党大阪府第8区(豊中市)総支部長

松井博史

まつい ひろふみ

命と暮らしが守られる社会へ！ 新しい選択!!

この一年余り、新型コロナウイルス感染症によって世界中が大きなダメージを受けました。日本では感染拡大と感染抑制を繰り返し、結果皆さんの暮らしや仕事に大変な影響があったかと思います。

そしてもう一つ、行き過ぎた自己責任論(自助)では、このような国難(自然災害なども含む)においては立ち行かないことが再認識されたわけです。後述しますが、私はまずコロナをしっかりと抑え込むこと、その後社会経済活動(go

to トラベルなど)を再開していくべきだと、加えて政治や行政は平時には無駄とも思われることであっても、**命や暮らし**を守るために、人員や予算を確保しなければならないと訴えてきました。

私たち立憲民主党もコロナ関連で約20本の法案を提出または今後提出していく予定です。これからも国民の皆さんの声をしっかりと政治へと届けるべく、取り組んで参ります。どうぞ皆さんの声をお聞かせ下さい!

豊中市の新型コロナ肺炎対策 PCR検査及びワクチン接種について

▶高齢者(任意)にPCR検査実施

概要 新型コロナウイルス感染症の重症者の増加を抑制するため、高齢者を対象に、PCR検査を実施。

対象者 市内に居住する無症状の65歳以上高齢者(施設入所者等を除く)

受付期間 令和3年4月1日～6月23日
9:30～16:00(日・祝除く)

給付内容 1人1回まで。自己負担なし

問い合わせ 0570-03-2548(高齢者任意PCR検査専用ダイヤル)

▶ワクチン接種

概要 新型コロナウイルスワクチン接種

対象者 豊中市内に居住する65歳以上の高齢者より順次

給付内容 接種券(クーポン券)を配布

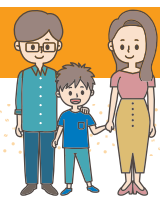
発送期間 令和3年3月29日より発送開始

接種時期 4月中旬より一部の高齢者施設の入居・入所者から先行接種

問い合わせ 06-6151-2511(とよなかワクチンダイヤル)

※接種場所、予約の取り方はクーポン券同封の資料をご確認ください。

※具体的な接種時期のアナウンス(市広報・市HP等)があるまで、クーポン券は大切に保管して下さい。



※令和3年4月10日現在のものであり、状況により変更されることもあります。

松井博史 プロフィール 1968年(543年)7月4日生まれ

経歴 ▶大阪府立三国丘高校卒／大阪大学法学部卒／元総務大臣第1秘書／第48回 衆議院議員選挙にて31,197票を獲得(比例近畿ブロック次点)

趣味・特技 ▶野球・空手・書道／最近、三線をはじめました

所属 ▶NPO法人オーキック理事(スポーツ振興などの活動)／NPO法人とよなか おきなわ応援団(兄弟都市として一層交流を深めていく活動)／青年会議所シニアクラブ

活動報告



8区(豊中市)総支部として定期的に街頭活動を実施中! お気軽にお声かけ下さい!



ポスター掲示を頂ける場所を募集中!



大切な支援者への挨拶も継続中!

松井博史

立憲民主党 大阪府第8区(豊中市)総支部長

対談

立憲民主党 政務調査会長

泉健太

[以下、松井→松)、泉→泉])
司会)まずはコロナ禍ですね。

●withコロナからzeroコロナへ!

泉) 政府や大阪府のコロナ対策、もっとできることがあるんじゃないかと。例えば、家賃や持続化給付金の再給付など、私たちが早くから主張してきた政策が実行されていない現状

が本当に歯がゆい。また私たちはZEROコロナ戦略[別欄 注])という言い方をしていますが、改めてその戦略を提言していきたい。

松) 個人向け支援というのが少ない。困窮者はもちろん、収入が激減している中間層への早急な対策を講じなければ。

泉) 対象を拡げて定額給付金を再給付すべきです。立憲民主党はそれを議員立法で提出しているので、ぜひ実現したい。

松) ZEROコロナ戦略は自粛の繰り返しではなく、まずしっかりと抑え込むための指標。与党と粘り強く折衝して頂きたいです。

司会) 一方でこの10年間、政治が非常に劣化しているという声もありますか?

●真の政治改革を!

松) 豊中市の森友学園問題...これに端を発し、行政の中立性、公平

裏面に続く

活動を支えて頂ける方を募っています! ※詳しくは総支部事務所までお問い合わせください。

- 松井博史後援会へのご入会
- 立憲民主党 党員・協力党員(サポーターズ)・パートナーズへの登録
- ボランティア活動 ①ピラの配布 ②ポスター掲示場所のご紹介 ③知人・友人のご紹介

立憲民主党大阪府第8区総支部 〒561-0801 豊中市曽根西町3-5-34 コスモハイツ曽根202号
TEL:06-6841-6600 FAX:06-6210-6001

LINE @松井博史



twitter @matsuihirofumis



facebook @matsuihirofumifc



性、透明性が損なわれている。緊張感のない政治が1つの要因ですね。民主党時代、何かあれば政権交代があるかもしれないという緊張感がありました。

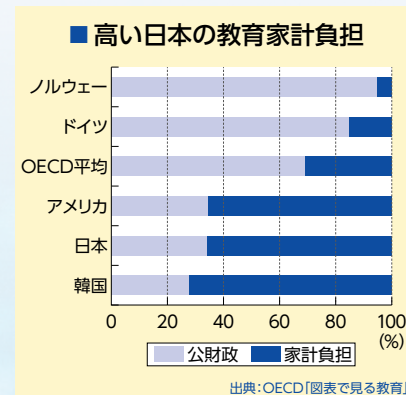
泉)確かに3年3カ月でしたが、停滞していた分野を動かしました。固定的で縦割りだった予算の使い方を総点検することが出来た。この10年間、権力が強くなり、その周りにいる人たちだけが得をする政治がまかり通ってきた。今、国政で立憲民主党が伸びて与野党伯仲することが大事だと思います。

司会)立憲民主党が掲げる人への投資とは？

●人への投資を！

泉)確かに株価は上がりましたが、国民生活は良くなっていない。本当の景気回復というのは、国民の可処分所得が増えて消費が活性化することです。社会福祉も経済を動かす大きな活力。そこに従事する方々の

待遇を改善することで、地域の経済は回ります。加えて地域の自然エネルギーをさらに伸ばしていく。このエネルギーの地産地消によって地域経済の自立性を高めていく。私たちは地域経済から日本を再生していきたい。



松)教育の無償化によってGDPを2〜2.5倍に押し上げることできるとの統計もあります。なかなか経済効果をイメージしにくい分野ですが、豊中市は文教・福祉の先進都市として積極的に取り組んできました。それが関西で一番住みたい街として取り上げられ、少子高齢時代でも人口増の要因に繋がっている。そこにお金を使う、それが経済の底上げになると皆さんが共感する具体的な発信が必要です。

司会)では未来のこの国の姿をどのように描いていますか？

●国民の身近に政治を！

松井博史 対談 泉 健太

立憲民主党 大阪府第8区(豊中市)総支部長

立憲民主党 政務調査会長



松)政治を志したのは14歳の時。大学で憲法を勉強してから、その思いを強くしました。今、立憲主義がクローズアップされていますが、やはり地域主権を進めていく。地方自治は民主主義の基本ですから。

泉)人間の尊重ということが非常に大事だと思います。縁あってこの国、地域に生まれ、暮らすことになった私たちは、その良さを次の世代につないでいく責務があります。そういった意味でも地方分権・地域主権というのは、本当に大事な観点です。

松)地域主権といわれて久しい。特に今回のコロナ禍で、より地域の行政や政治の大切さが再認識されたと思います。大阪でも行財政改革の名のもと医療機関、保健所などの人員・予算が削減された結果がこれな

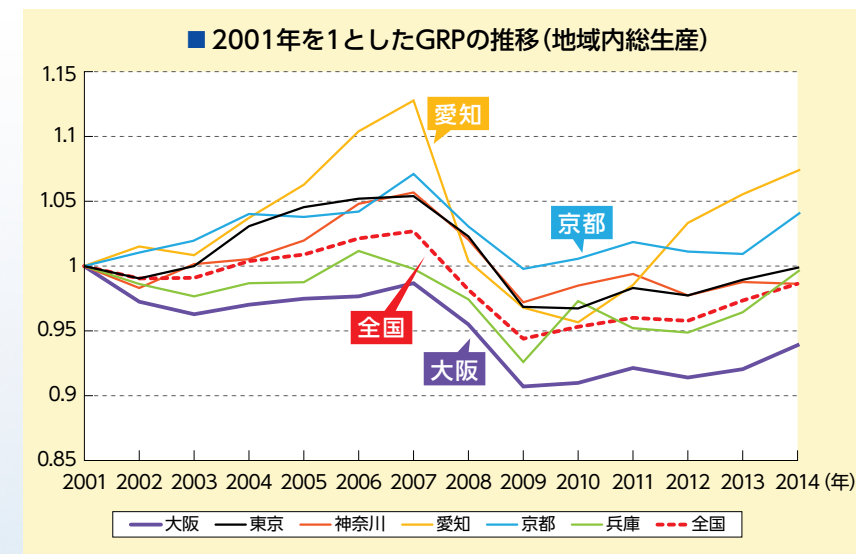
んです。命や暮らしを守る、必要なものは必要であると堂々と訴えていきたいと思います。

司会)では大阪、関西をどのように元気にしていくのか？

●関西・大阪の再生！

泉)やはり関西の中心地は大阪ですから、大阪が風邪を引けば京都にも影響がある。元々、商都であり民の力が強い大阪の地盤沈下は、関西にとってもダメージが大きい。

松)大阪の場合、大型プロジェクトや外国人観光客依存ではなく、そこに行かないとそれが観れない、買えないという京都のまちづくりとは全然違うと思います。もっと大阪の誇る中小企業、商店街、上方芸能などを応援していかなければ。



泉)地域の特性を売り出すという場合に、住民の熱意がなければ上から商品だけ降りてきてもなかなかモノにはならない。京都に魅力的なものがあるのは、やはり地域が大事に育ててきたんです。街並みにせよ、商品にせよ、地域に近いところでの魅力づくりが大切です。各地から沸き起こっていくような、そんな住民自治になればいいと思います。

司会)最後になりましたが…

松)与党の代わりが出来うるのは、新しい選択は立憲民主党なんだと、理解して頂けるよう地元活動を続けていきます！

泉)国政の大きな政治の改革と地域の活性化、両方頑張る。それが立憲民主党の良さだと思います。

情熱の赤で、頑張りましょう！



●聞き手:堺市議会議員 西哲史
1977年7月7日生まれ/1996年 大阪府立三国丘高等学校卒業/2003年 慶応義塾大学大学院 政策メディア研究科修士課程修了/現在、堺市議会議員3期

注)立憲民主党の目指すzeroコロナ戦略

政府が進めてきた「経済活動と感染対策の両立」では、感染拡大と感染抑制の繰り返しで、結果、国民の皆さんにより大きな負担を強いることになります。そこで立憲民主党は「zeroコロナ」戦略を提言しています。これは感染を完全にゼロにという意味ではなく、まずしっかりと抑え込むことで、普通にマスクなしでも社会経済活動を取り戻す戦略です。諸事情は違えどオーストラリアや台湾のように不可能なことではありません。

- ①医療機関に対する支援、そして病床・人員などの確保
- ②PCR検査の徹底とワクチン接種の迅速化、保健所機能の強化
- ③抑え込む間の暮らしを守るための十分な補償

●衆議院議員 泉ケンタ

1974年7月29日生まれ/1998年 立命館大学法学部卒業/2003年29歳で衆議院議員に初当選(現在6期目)/国民民主党 国対委員長、政務調査会長を歴任し、現在、立憲民主党 政務調査会長